

TERRA ねっと福井は東日本大震災を機に県内の宗教者が宗派を超えて集い、追悼の集いや福島子どもサマーキャンプ（他団体と協働）などの活動を中心に、悼むということ、寄り添うということについて考えてきた集まりです。活動の中で、死を通して生を見つめることの大切さを感じてきました。



2020.7 禅林寺 震災等追悼会



2019.7 福島子供サマーキャンプ

2020年春、新型コロナウイルス感染拡大が起こり、様々な事が変化し葬儀や仏

事も急激に変わってしまいました。このことはウイルス自体が原因なのではなく、これまで地域社会によって保たれてきた習慣が、コロナ禍の影響によってもろくも崩れ去ってしまったのだと

↑
思います。

そこで改めて、これまで護られてきた葬送習慣は一体何だったのか、これからどうあるべきなのかを考えていく取り組みを始めました。そのひとつとしてこのパンフレットを作成し、発信した次第です。

決して昔からの習慣を頑なに護ろうと訴えたいわけではなく、現代社会を生きる者同士これまでを見直し、これからの「追悼の仕方」を模索するという作業を共有したいと願っております。

皆様からご意見ご感想をお寄せいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。



2020.5 金剛院 座談会収録 (たんなんFM)

詳細はQRコード参照



<http://www.terranel-fukui.org/>

代表：真宗大谷派・専光寺住職 佐々本尚

問合せ：terranel.fukui@gmail.com

または下記まで

受付！
カンパ

郵便銀行 三三八店 普通 0499665
名義 テラネットフクイ
*領収書を発行します

2020.12月作成

これから小規模葬で 大丈夫なんだよね？



ラクそうだが、しっかりお見送りもしたい…。
簡素化の長短、今少し考えておきませんか？



宗派を超えて集う TERRA ねっと福井
小規模葬を考えるリーフレット vol.2

お寺も仏事も初めて、わからないことばかり。

経済的に余裕なく、もしものときどうしたら？

高齢だし、今は近所付き合ひもほとんどありません。

独身で頼れる人も少なくして..。

子どもも遠方、家やお墓の後継ぎも先行き分からないんです。等々



今やご家庭ごとの事情はほんとに様々ですね。お困りごとや心配なこと、どんな小さなことでも近くのお寺やお坊さんなどを訪ねたり、事前にご相談してみませんか？

家族葬って家族だけで見送ること？

一口に家族葬と言っても定義はありません。同居家族だけの方から、在所や仕事関係の方も席に参列されたりと、規模は様々です。御香典を受け取らない、帳場を立てないことも以前ありましたが、これも今や、喪主の立礼に定型的なご挨拶、焼香順読み上げに至るまで、一般葬と変わらず行われることもあります。

特に新型コロナ以降は、中間のような場が手探りで営まれているようです。

どんな問題があるのでしょうか？

まず費用面では、葬儀社の格安プランもありますが、御香典を受け取らなければ持ち出しはかかります。

また、周囲の方々のお知らせの範囲と新聞紙上での告知の仕方に迷われることが多々あり、後で聞いたとして弔問客が後日続き、対応に困ることもあります。

当日は、せっかくお身内だけの気遣いのない場において、立礼や読み上げなど形式的な進行が踏襲され、アットホームな時間が保てないこともあるでしょう。↙

何より、故人と関係のあった人たちと会う機会が失われたり、見送りたいと思う人たちを遠慮させ、排除してしまう可能性も見落としてはなりません。「お別れ会」「見送る会」など自由な形も出てきた一方、喪主や家族らに采配の負担が増したり、簡素にしてしまったことへの後悔もあるとしたら本末転倒です。

お弔いにあたっての心構えとは？

死を悼む「弔う」という漢字には、垂れて来た蔓の根元へたどるといふ由来から、訪ねるといふ意味があります。死を穢れとして怖れる俗信、亡くなり方や身分・仕事の貴賤などへ、無自覚な差別偏見を持ち込んで、いのち本来の尊厳さが歪められかねません。

自分も必ず死ぬ、それもいつかわからないという現実を認めたくない私たちが、「限りある生命」について考えたり、日頃何を大切に何を抛り所としていきたのか問い直す貴重な機会を、亡き人から与えられています。大いなる死の解決がある人生であれば幸いなことです。